



冬は楽しいイベントいっぱい！

井上通信

No.18

2024年10月、当社は第66期目に入突し、創業140周年を迎えました。周年記念として、11月8日には「創業140周年記念式典」を開催し、これまでの歩みを振り返りながら、次の創業150周年に向けての新たな挑戦への決意を共有する場を設けさせていただきました。

昨年度、第65期の売上高は37.3億円を着地をしました。10年前と比べて売上高は約1.5倍、従業員数も百名近くとなり、大幅な飛躍を遂げることができました。この飛躍を支えた原動力は、製品の出荷増加や海外市場の拡大であり、特に東南アジアを中心に新たな市場が広がりました。そして大きな推進力となったのが社員の成長です。新卒採用を積極的にを行い、スキルアップや成長を後押しする勉強会を続けてきました。その結果、一人ひとりが経営者意識を持つて業務に取り組み、経費削減や業務効率化も進みました。なによりもこうして140周年という節目を迎えることができたのは、お取引先、地域

佐々木常務の一言

漸く一時の、いや途轍もなく長く暑い夏が過ぎ、早寒い冬が参りました。最近、出張の機会が多く日本人以外の旅行客を目にする機会が多くなりました。私の生まれ育った大分県の津久見では、先ず見かけた事有りませんでした。学生時代は東京で過ごし、北九州市そして大阪から東京と移り住み、バンコクで14年間駐在をしました。そこで中近東、インド、アフリカへと出張するに付け、TVでしか見た事の無かった国々・世界が目前に有るという事に驚きました。長生きする事も悪くないな、けど健康で有る事が必須だなと感じた今日この頃です。

の皆さまのおかげです。これからもその感謝の気持ちを胸に、次の150周年に向けてさらに成長できるように、社員一丸となって取り組んでまいります。



井上のお石灰な話

INOUEの思い出編

- 在職時の思い出や覚えていらっしゃることを教えてください -

私は、「削り」を一番覚えています。削り石灰といって、出てきた石灰の表面には石灰殻や不純物がついているでしょう。それをナタで削り取るんです。窯の縁から「選り子」さんが良いのを集めているので、それをすぐに削るんです。1俵（20kg入り）*削っていくらという世界なので、早くたくさん削った人が賞金をたくさんもらえましたから、皆で競争でした。

（昭和32～60年在職 水口 好美さん談）

*削り石灰はベテランの熟練した人たちでも1日20kg袋を10～12袋がせいぜいだったそうです。

「なんちゃじゃやない」
大した事ない、という意。
相手から心配された時に返答する場合や注意をする場合に使います。「○○してくれてありがとうございます！」「なんちゃじゃやない」（大した事ないよ！）といった感じですが、他にも「なんちゃじゃやないこと泣くな」と注意する時にも使われます。相手への愛と強さにあふれた高知人らしい方言です。

土佐の方言紹介

なんちゃじゃやないことを大げさに言うたらいかん！



今シーズンの仕込みは全て終わり製造作業に切り替わる時期を過ごしています。多事多端な仕込み時期を乗り越えて、ようやく心身ともにゆつくりできるようになりました。気温が下がる11月中頃からはスパークリングワインの作業が始まりますが、比較的ゆつくりできるこのタイミングでブドウの栽培のことや収穫のタイミング、その後の作業など、今年の振り返りをして、評価点と反省点について検討をします。

毎年同じようである原料をもとに高知らしさを感じるワインを目指して、「変えること」と「変えないこと」の選択肢を検討しています。考えることが多く、大変ではありますがワインが造れる喜びを感じる時期でもあります。



井上ワイナリー だより